



やさしい能楽 1から始めるお仕舞体験講座 PART9

『能楽体験ワークショップ』を開催しました！

平成25年7月4日(木)～8月25日(日)



ミューズでは、日本の伝統芸能を広く知っていただくため、「能楽体験ワークショップ」を開催し、今年で9回目となります。講師に観世流能楽師・遠藤喜久先生をお迎えし、7月4日(木)から全6回の〈一般の部〉と、8月20日(火)から全3回の〈小中学生の部〉を開催しました。一般の部では、10代の大学生から70代までの幅広い年齢層の方にご参加いただき、40人の生徒さんが集まりました。

昼の部は「^{げんじょう}玄象」と「^{とうせん}唐船」、夜の部は「^{ようろう}養老」の仕舞をお稽古しました。お稽古のほかに、能装束(衣裳)や能面の解説もあり、生徒の皆さんは間近で見る道具に興味津々。短い稽古期間でしたが、大変充実した内容になりました。

そして、8月25日(日)には『触れてみよう！能楽の世界』の第1部に出演し、稽古の成果を発表しました。第2部では遠藤喜久師による「能のお話」やお囃子楽器解説、さらに能「^{つちくも}土蜘蛛」を鑑賞しました。



〈生徒発表〉一般の部



〈生徒発表〉小中学生の部



〈連吟〉小学生・高校生



〈生徒発表〉舎利



遠藤喜久師による
「能のお話」



お囃子楽器解説



摺り足の稽古



全体稽古



能面の解説

小中学生の部では3回のお稽古で「^{いわふね}岩船」の“謡い”と“仕舞”を覚えました。今年は4人の小学生が参加し、皆さん楽しそうに稽古を受けていました。

小学3年生から毎年参加している高校生の2人は、昨年と同じ「^{しゃり}舎利」を選曲。今年は動きを増やして見ごたえのある仕舞になりました。2人の息を合わせる場面が多い曲ですが、長年一緒に稽古しているだけあって2人の息はぴったり！短期間とは思えない出来栄に仕上がりました。



能「土蜘蛛」



能「土蜘蛛」



集合写真

短い期間でしたが、生徒の皆さんにとっては大変充実した体験講座となったようです。

また来年度も「能楽体験ワークショップ」を行う予定です。能や仕舞に興味のある方、是非ご参加ください！